

2025年6月9日

東京グローバルビジネス専門学校
学 校 長 佐々木 由 殿

学校関係者評価委員会

第6回 学校関係者評価委員会報告書

2025年度 学校関係者評価委員会につきまして、下記のとおり報告します。

記

1 開催状況

日 程： 2025年6月6日（金）

会 場： 東京グローバルビジネス専門学校 302教室

2 報告内容

別紙のとおり

以上

1. 『教育理念・目標』について

開校より年数を重ね、教職員や学生の多様性も豊かになる中、『教育』に対する考え方等にも自然的に幅が出てきた。違いがあることは勿論良いことではある一方、教育理念や経営理念、行動指針等を基に、教職員のベクトル合わせをすることが、より佐々木学園らしきを作る好機になることを提言させていただいた。

2. 『学校運営』について

自己評価は昨年より下がっているが、課題の水準が上がっており学校運営としては進歩している印象を抱いた。教職員の人数が増えたことに伴い、これまで円滑と思われていた業務面での情報共有方法等を、更に向上できるよう努めて欲しい。

3. 『教育活動』について

就職後の活躍の幅を考慮し、広く社会に求められるビジネス系科目等を新たに配置した点を高く評価したい。また、前の基準にて議論に挙げた『地域からの学生に対する意見』等を題材として授業内に取り入れることで、現状の新規科目も今まで以上に実生活や実社会に即した視点で学びが深まる可能性をアドバイスさせていただいた。

4. 『学習成果』について

卒業した学生が、在校生を採用する企業側の担当者として来校していることを聞き、学校としてのフェーズが高くなっていることを認識できた。一方、『資格の合格率』について問う設問において、過年度より自己評価が下がった要因を質問した際、その回答に不足を感じた。自己評価に更なる説得力を持たせるために、数値的な判断基準の導入を必須と考え提言をさせていただいた。

5. 『学生支援』について

報告書に記載のとおり、留学生の保護者から学校側に連絡を取る手段の確立を必要と考える。その整備と構築により、留学生の退学率の低減へと繋がることを期待したい。

6. 『教育環境』について

学内での安全管理には引き続き、力を注いでいただきたい。有事の際の非常食や防災グッズの備蓄はされているように見受けられるが、災害時等には簡易トイレのニーズが高いことを受け、その点の整備も進めていただきたい旨をお伝えした。

一方、学外での安全管理にも目を向けていただきたく、例えば、学生の居住地の周辺の手がかりマップ等についても正しく理解し、情報を発信することで、学生へ更なる安心感を与えて欲しいと考える。

7. 『学生募集と受け入れ』について

安定した募集活動が出来ている点に日々の努力が感じられる。また別の評価基準の議論の際に退学率に関する言及があったが、『入学前の段階』で学校の方針や進路実績等を丁寧に説明することで、退学の抑制にも繋がることを再度お話させていただいた。

8. 『財務』について

現状の運用に問題はなく、記載事項に総合的に同意できる。

9. 『法令等の遵守』について

現状の運用に問題はなく、記載事項に総合的に同意できる。

10. 『社会貢献・地域貢献』について

外国人留学生が多いという特色を活かした社会貢献方法を模索している様子だったので、例えば、海外にルーツを持つ子ども達が多く悩みを抱えているという現代の日本の課題を共有させていただいた。

その他、学校として、今年度より実施を検討している社会貢献施策もあることを知り、当該項目の今後の自己評価の向上に期待したい。

以 上